

小野高等学校「生徒が主体となった読書推進活動について」

1 学校の概要（令和4年4月現在）

- ①所在地 福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63番地
- ②学級数 7 生徒数 140名（令和4年5月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数 20,650冊（令和4年5月1日付け）

2 読書活動推進の取組内容

①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

ア ミニ読書会の開催

年間7回昼休み時間と放課後を活用して、本校図書委員及び有志生徒による、「ミニ読書会」を開催しています。その際、同時に紙芝居、人形劇を実施したり、松ぼっくりを使用したクリスマスツリー制作などのワークショップを開催したりするなど、生徒が主体になって本と図書館に親しみやすい環境づくりに取り組んでいます。



読み聞かせの様子



童話の登場人物を手作りで表現

イ 新刊のPRとテーマ別コーナーの設置、図書館だより「こまちらいぶらりい」の発行

本校の図書館では、なるべく新しく、話題の本を購入し、生徒たちに広く手に取ってもらえるよう工夫をしています。図書館だより「こまちらいぶらりい」による周知や図書館の入り口付近に新刊や受賞作品、新しい雑誌類等を配置し、生徒の興味を引く取組をしています。

また、2,3年生で取り組む総合的な探究の時間や課題研究では、地域の課題やSDGsについて多く取り上げられています。写真のように、コーナーを設け、生徒が手に取りやすい工夫をしています。



こまちらいぶらりい



新刊を見やすいように展示



SDGsコーナー

②学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

ア おすすめ本のPR活動

3年前から図書部と国語科が協力して、1、2年生の授業内で、一人一冊、お勧めできる本を写真のようにポスターにまとめて掲示する活動を行っています。ポスターを教室前の廊下に掲示したり、図書館に掲げたりして目につくようにしています。本のタイトル、簡単な内容、そしておすすめできる理由が書いてあります。



③読書活動の質の向上へ向けた取組

ア 読書感想文等の取組

国語科と連携を図り、1、2年生全員が夏休みに図書館の利用を促進する取り組みとして、読書感想文やビブリオバトルに取り組んでいます。読書感想文では、1、2年生各クラスの代表がコンクールに出品し、特選を受賞することができました。また、ビブリオバトルでは、2学年の各クラスの代表が、練習を重ね中通り地区予選会に参加しました。その結果、一名が代表決定戦まで進むことができました。

イ 授業のための図書館利用の促進

本校の図書館には、各種専門書が多く取り揃えてあります。家庭、福祉、美術等の各教科の授業において、テーマにあった図書を用意するなど、協力体制が図られ、授業に活用できる環境を整えています。

④その他、読書活動推進へ向けた取組

ア 公開文化祭「柏葉祭」の企画展示

令和4年10月23日(日)、3年に一度の公開文化祭「柏葉祭」が行われ、図書委員会が中心となって、日頃行っているミニ読書会の活動をPRする展示を行いました。

右写真のように、童話の紙芝居や神話の中に登場する星座、長尺紙で動く絵画、そして人形等、それぞれの物語がどのように描かれているのか、聴く側の想像力を高めることができます。当日は、ミニ読書会を再現し、来校した皆さんに喜んでいただきました。



展示された人形や紙芝居

イ 長期休業中図書貸出冊数無制限、リクエスト常時受付

長期休業中は貸出冊数の制限を設けず、多くの図書に触れられるようにしています。また、リクエストは一年を通して受け付けており、生徒の要望に応じて図書を随時揃えることで、生徒の読書活動の促進を図っています。



来場者にミニ読書会を披露